

[PR] 審査が通るカードローン？当日融資今すぐ／比較

明ヶ島キャンプ場

関連ニュースはこちら >

自然の「不便さ」楽しむ 3年ぶり再開 地元建設会社が再整備 掛川 ／静岡

毎日新聞 2017年4月30日 地方版

静岡県 >



ウッドデッキサイトにテントを広げ、楽しむ客＝掛川市の「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」で2017年4月29日午後2時10分、古川幸奈撮影

[PR]



2013年の台風被害の影響で営業を休止した「明ヶ島（みょうがじま）キャンプ場」（掛川市炭焼）が3年ぶりに再開し、大型連休初日の29日、初めて来場者を迎えた。地元の建設会社が「地域活性化のために」と再整備し、「真の自然を楽しめる不便さ」を売りにしている。【古川幸奈】

同キャンプ場は、JR掛川駅から車で約1時間の山奥にあり、携帯電話は通じない。モミジやヒノキなどの自然林に囲まれた敷地に、清流のほとりにキャンプ用「ウッドデッキサイト」を設け、コテージやドッグランなどもある。外部との連絡は、管理棟の有線電話1台だけ。外灯も最小限に抑え、月や星の光を存分に味わえる。

この日は、県内をはじめ東京都や愛知県などから10組が訪れ、バーベキューや川遊びなどを楽しんだ。友人2人と訪れた函南町の

会社員、成川史司さん（36）は「川の音に包まれながら、時間を気にせずゆっくりと過ごせる。開放感があって最高です」と話した。

この施設は、掛川市が1978年に建設したが、台風で大きな被害を受け、当時の経営者が14年3月に退いた。その後1年以上放置されていたが、市内の建設会社「山田」が名乗りを上げ、2年がかりで再整備した。費用は全額を負担した。「炭焼の杜 明ヶ島キャンプ場」に名称変更し、今月28日にリニューアルオープンした。

山田珠一社長は「キャンプ好きの社員も多く、少しでも地元にも恩返しがあった。設備の整ったキャンプ場では味わえない、自然の音ややすらぎを感じてほしい」と語る。

プロデュースしたデザイン会社の松山拓也社長は「夜はこぼれ落ちそうなくらいたくさんの星が見えます。あえてこの不便さを楽しんでほしい」とPRしている。

料金や予約は同キャンプ場ホームページ（<http://www.bt-r.jp/smc/index.html>）。